

# 県仏通信

第24号

新潟県仏教会会報  
令和3年2月10日発行  
発行人・編集人  
会 長 寺崎敬道  
事務局長 山口智史  
事務局〒957-0055  
新発田市諏訪町2-4-17 宝光寺  
TEL 0254-22-4376  
FAX 0254-20-7943  
postmaster@hokoji.net

## 退任のご挨拶

新潟県仏教会会長

寺崎 敬道

各位にはますますご清祥にてご接化ご多端のこととお慶び申し上げます。

この3月末で2期4年の任期を終え、退任いたします。さまざまお世話になり、ありがとうございました。

特に、個人会員の皆さまには、県仏の活動にご理解をたまわり、多額の年会費・賛助金をご納入くださいましたこと深く感謝申し上げます。

退任にあたり県仏の役割を改めて考えてみたいと思います。現在の体制、予算を前提とし、重要な順に列挙すれば次の3点になるのではないかと考えます。

1、全日仏と地域仏教会の橋渡し  
2、地域仏教会・地域の情報

を全県で共有する橋渡し

3、県内全寺院の代表

1、全日仏と地域仏教会の橋渡し

ご存じのとおり、地域仏教会は直接全日本仏教会に加盟することはできないため、全日仏からの情報は都道府県仏教会をつうじてということになります。ここに新潟県仏教会の重要な役割があると考えます。

具体的には全日仏が開催する各種会合に参加し、その情報を『県仏通信』に掲載してお知らせするということです。掲載号数とともに示しますと、この4年弱で、公益財団法人全日本仏教会財団創立60周年記念式典第44回全日本仏教徒会議福島大会(18号)、加盟団体説明会「厚生年金問題」(17号)、第29回WFB世界仏教徒会議日本大会・世界平和祈願法要・シンポジウム(20

号)、情報共有会「寺院のユニバーサルデザインの取り組みについて」(22号)に参加し、掲載いたしました。

また、橋渡しには、各寺院・各地域仏教での課題・問題があれば、それを全日仏に具申し解決策をさぐる、ということとは逆方向の役割のあることを忘れてはなりませんし、県仏のこの役割を各寺院・各地域仏教会に周知するようにとめねばなりません。

2、地域仏教会の情報を全県で共有する橋渡し

新潟県は面積が全国5番目、海岸線が300km以上ある大きな県です。地域も上中下越に佐渡という具合に文化的にも違いがあり、地域の情報や実情が全県に伝わりにくい状況にあります。そこで、地域仏教会の紹介をご執筆いただきました。村上市仏教会(19号)、栃尾仏教会(22号)、新潟市仏教会・中魚沼十日町仏教会・東頸地区仏教会、新発田仏教会(23号)のご紹介ができました。

また、新潟市仏教会の勉強会に招かれ、カルト問題(19号)や寺院消滅(21号)について学び、報告いたしました。さらに、新潟県人権・同和

センターの主催する「人権・同和教育啓発推進講座越佐にんげん学校」の6講座に参加し、そのうち4講座の報告(18・20号)と、人権啓発研究集会に参加・報告(20号)をいたしました。

また、同宗連の事務局長から新潟市歴史博物館の企画展の墓石調査にまつわり、身元調査には最新の注意を払わねばならないことに対して注意喚起をいただきました。(18号)

さらに、「命を守るC型肝炎新潟の会」についても情報を提供いたしました。(20号)

3、県内全寺院の代表人権問題に対する取り組みは宗教者として重要な課題の1つです。「いのち・愛・人権」展に県内寺院の代表として県実行委員長をつとめ、阿賀野展(平成29年)、糸魚川展(平成30年)、燕展(令和元年)を主催者の一人として協力をいたしました。

また、マスコミから過疎化地域の寺院の実情やご朱印ブームについてなど取材を受けました。県内寺院の意見は代弁できたかどうかかわかりませんが、これも県仏の大切な役割であったと思います。  
令和元年5月に前副会長の

仏教界随一の団参専門機関



## 新潟ビーエス観光

〒940-0041 新潟県長岡市学校町3丁目12-4

TEL 0258(34)4848 FAX 0258(34)0227

ホームページ <http://niigata.bs-group.jp/>

E-mail [niigata.b.s@jeans.ocn.ne.jp](mailto:niigata.b.s@jeans.ocn.ne.jp)

- ◆ 越後三十三観音霊場巡拝の旅
- ◆ インド仏跡巡拝の旅
- ◆ スリランカの旅
- ◆ 四国八十八ヶ所霊場巡拝の旅
- ◆ 西国三十三観音霊場巡拝の旅
- ◆ 坂東三十三観音霊場巡拝の旅

直江師が急逝されたことは、21号でお知らせいたしました。その1か月ほど前に開催した理事会ではお元氣なご尊顔を拝することができ、県仏でインド仏跡巡拝をやらなかったか、と非公式に提案されたことがありました。旅行は県仏の会員同士の親睦を深め、連帯をはかるにはよい企画であると思いました。それなら翌年の令和2年10月に開催予定の全日本仏教徒会議島根大会に全県に呼びかけて団体を組織し、参加してはどうかと考え、実際BS観光に依頼して企画書を作ってもらいました。ところが、このコロナ禍がはじまり諦めざるを得なかったのが心残りです。

県内の全寺院全檀信徒を巻き込んだの行事をおこなうことが県仏の課題であると思います。新潟県仏教徒大会、インド仏跡巡拝旅行など、新潟県仏教徒としての連帯を強化し、団結できるような行事をおこなうことが必要であることを申し上げて退任の挨拶いたします。

4年間お世話になりました。ありがとうございました。各位のますますのご発展を祈念申し上げます。

合掌

## 四年間を振り返って

事務局長

山口 智史

新潟県仏教会事務局を二期、寺崎会長の下四年間務めさせていただきました新発田市瑞雲寺山口智史と申します。

私は主に会費、寄付金などの入金、各団体等への負担金などの出金の管理をさせていただきました。就任当初は宗派の垣根を乗り越えて仏教のすばらしさを伝えるためにも、地域仏教会や県仏教会の存在はとても重要であると思いい、県仏加盟寺院の皆様のお力を借りて県仏をより立ててゆくことができるように事務局として努めてまいりたいと考えておりましたが、結局新しいことは何もできず四年間を過ごしてしまったことが残念でなりません。お金の管理等は間違いなくしたつもりであります。それ以外何をしましたのか問われると、いつも通りとしか答えられない現実を今更ながら噛みしめておるところです。お金のやりとり、帳簿記入については多少なりとも勉強になり自分としては良かったのですが、県仏のた

めに何かできたかと考えるとごめんなさいとしか言えません。

県仏の収入は各市の仏教会、個人会員、協賛業者よりいただいております。毎年およそ百三十万円強くらいであります。支出は事務局費、会議費、路費、事業費、負担金、に当たっており、その中で事業費の充実した使い道があれば良かったのですが、県仏通信が主でありました。

昨年はコロナ禍により多くの行事が中止となつてしまいました。県仏最終年に活動が大きく制限されたことは残念でなりません。

県仏事務局を四年間務めさせていただき、深い感謝の意を表すると共に改めて御礼申し上げます。四年間大変有り難うございました。

## 事務局退任に際して

事務局員

関根 正隆

4年間、微力ながら事務局員として県仏教会のお手伝いをさせていただきました。貴重な機会をいただきありがとうございました。

4年前に寄稿させていただ

きました原稿を見返してみると、寺院のおかれた状況の厳しさが増してきていると感じていると書いておりました。現在はコロナウイルスの全国的な蔓延もあり、この状況はさらに厳しいものとなりました。葬儀や法事の規模は、喪主の方が望む望まないは別にしても縮小が余儀無くされています。

一体これからのお寺はどうなっていくのか、先の見えな不安があります。このような状況下ではありますが、お寺の新しい取り組みには、注目が集まっています。2014年に立ち上げられた「おてらおやつクラブ」は、現在1500以上の全国のお寺が協力して、お寺の「おそなえ」を「おさがり」として、経済的に困難な家庭へ「おすそわけ」する活動です。2018年にはグッドデザイン賞の大賞という最高賞を受賞されています。新発田市でも今年「しばたフードバンク」と市内のお寺が協力した活動がスタートしました。「お寺おやつプロジェクト」と銘打って市内のお寺のお供えを市内の困窮する家庭に届ける活動です。「おてらおやつクラブ」ほどの規模ではありませんが、新発田

社寺、一般屋根工事請負



有限会社

いらか

業 工 薨

〒959-2221 新潟県阿賀野市保田6099  
TEL (0250) 68-7100 FAX (0250) 68-7111

瓦の美しさを出せる

工事店です。

本掛け、本瓦、棧瓦葺き、

棟は京風、奈風、

ご要望に応じます。



という地域内での地元根ざした活動です。このプロジェクトは早速、新潟日報や地方のテレビ局などに大きく取り上げられ、期待の大きさを感じています。お寺は、今以上に地域から信頼され、頼られる存在となる必要があるのではないのでしょうか。

事務局就任のご挨拶の際にも書きましたが、それぞれの寺院が様々な取り組みを始めることで、新しいお寺のあり方が見えてくるのではないかと思います。私自身、新潟県仏教会や全日本仏教会を通じて県内、全国の寺院の活動を注視しながら、自坊でも、ご門徒や地域と連携し、活動していきたいと思っています。

このたびの任期の期間中には多くの諸先輩方にご指導を賜りました。この場を借りて感謝を申し上げるとともに、県仏教会の活動の更なる活性化を願っております。

## 無題

事務局員

青木 泰洋

「ジャカムニセーソン」四歳になる娘が突然、お風呂の中

で言い放った。驚いたが何の脈絡もない単語を発する事はよくあることだし、少なくとも私が唱えるお経の中で聞いたことのある言葉だろうか、何かの拍子に頭の中に浮かんだのだろうか。思いがけず癒されてしまった。

県仏教会の事務局員になったのが四年前、僧侶になってすぐの頃だ。新発田に帰郷して六年、子供が生まれて僧侶になって四年、それまでは京都で今とは全く畑違いの仕事をしていた。

四年前私は緊張していた、それは子供が生まれてくる緊張とは別に二週間後に迫った本山修行のプレッシャーだ。さらに帰郷してからも続けていた仕事、建築インテリデザインの仕事に追われていたのだ。現場は東京、二週間後に始まる修行の最中に完成引渡しというスケジュール、もちろん修行を抜け出して現場をチェックしに行く訳にはいかない。幸い、京都でいつもお世話になっていた工務店の棟梁が現場監督に入ってくださることになったので少し気は楽になったが、現場が気になって修行に集中出来ないのではと心配していた。そしてもう一つの心配事、

子供の事だ。生まれて二週間後に離ればなれになって、妻は一人で大丈夫だろうか。義理の母が来てくれるから大丈夫とは分かっているつもりで心配である。

しかしいざ修行が始まると、ついていくのがやっとで日に日に体力は消耗、心配する余裕など無くなり、ついには熱を出して倒れてしまった。全く情けない気持ちになった事を今でも思い出す。

実際、現場は大きな問題も起こらず無事完成、娘もすくすく育っていた。私の心配はどちらも杞憂に終わったのだ。

そこでふと疑問に思うことがあった、大袈裟に言うところ「私の存在意義とは何なのか？」と。それまでは現場に張り付き細かくチェックしていたからこそ納得のいく空間が出来上がっていると思っていたのに。いや、気心知れた棟梁、クライアントとの意思疎通が事前に上手く出来ていて、皆んなが同じ方向を向いていたからこそとは思える。いい空間が出来上がって嬉しい気持ちの中に、少し寂しい思いがあった。

今思えば、もしかしたら次のステップに進めたのかも知れない、それはスタッフを雇って所謂「先生」と呼ばれる位置にいくこと。現場はスタッフに任せてより多くの物件や大きなプロジェクトを手掛ける、会社を大きくすると言うことだ。しかし不器用な私には結果的にそれが出来なかった。いや、誰かを信用して任せると言うことが出来なかったのかもしれない。

さて、お寺に置き換えてみるとどうだろうか？「先生」は住職、「スタッフ」は山務員や寺族、檀信徒と言うことになるだろう。会社は社員全員が同じ方向を向いて仕事をしなければ上手く進まない、お寺はどうだ、みんな同じ方向を向いているだろうか？ 墓問題、後継問題、護持問題、建物老朽化問題等々、問題は山積している。

県仏教会の皆さんがどの様にこれらの問題と向き合われているのか、考えておられるのか私は知りたい。私は自身の存在意義を改めて問い直したいと思っています。

ああ、また娘の口からあの言葉を聞きたいなあ。と思う今日この頃である。

四年間どうもありがとうございました。

## 県内唯一の伝統継承

木地・彫・金具・塗・蒔絵  
お仏壇全工程自社製作



# 福宝

経済産業省公認

石匠位認定



本社/新潟市南区根岸 1511 Tel 025-362-1658(代)

■経済産業省公認 石匠位認定店

■1級お墓ディレクター 19名(県内No.1)

■2級お墓ディレクター 128名(県内No.1)

■仏事コーディネーター 102名(県内No.1)

## 退任のご挨拶

事務局員

本田 義昌

宝光寺御山主寺崎敬道老師に於かれましては二期四年に渡り新潟県仏教会会長の任、誠に御疲れさまでした。又事務局の私共をお導き頂き心より感謝を申し上げます。

県仏のお仕事のお手伝いをさせて頂く中で有難いと感じたことは、様々な事務作業の中で、例えば発送の作業中など他宗の「教義や考え方」を解りやすくご教授頂いたり、寺院が抱える諸問題の様々な成功例。逆に失敗例と改善点など。

同じ宗派の仲間内ではなく普段会えない他宗寺院の僧侶から意見や助言・違う尺度からの切込みや解決方法など多岐に渡り学びを得ることが出来ました。

人権同和の研修会では「自死の息子を持つ家族の生き方」。生々しい恨みが未だ癒えぬ苦しみと現実の生活。二度と同じことを繰り返させない」と真摯に願う遺族の思い。

「部落差別から生じる結婚差別」の講演では、平成・令和の時代まで水面下で動く批難

との葛藤など…。普段の生活では知り得ることの出来ない事柄など講演を拝聴いたしました。

我々僧侶は「他人事とせず我が事として」、問題の解決と対応策をお釈迦様が我々に残して下さった仏教を手本に、真剣に考えなければならぬと痛感致しました。

県仏の寺院研修会では「新宗教に対応する仏教の役割」と題し明治以降「家督制度」と言われ、現在ほとんどの寺院が採用する「先祖代々の墓」。明治以前は一人に一つのお墓という形が当然であったらしいが、家督制度に伴い寺院の檀家制度が始まり、言い方を換えれば「布教をしなくても檀家という会員(座布団に)胡坐をかける風習」が始まったという内容の研修会でした。時代が変わり私達の僧侶の考えやお寺の柔軟な方向転換が必要な時代になったと学びを得ることが出来ました。

又、「廃仏毀釈百五十年目の『寺院消滅』」の研修会では、この廃仏毀釈から私たちが学ぶべきことは、必要とされる寺は復興すること。「必要な存在は残り、不必要な存在は消滅する」。僧侶の墮落と寺院消滅は廃仏毀釈から百五十

年経った今でも変わらないこと。必要とされる寺である為に、僧侶が心がけるべきことは何か？僧侶の資質向上・信仰を伝える姿勢と、その背中。檀信徒に寄り添うことを真剣に考え、仏教の本質から離れてはいけないと、まじまじ感じさせられる機会を頂きました。

最後に有難い仏縁を頂戴し、曹洞宗第四宗務所布教師会研修会に日蓮宗の布教師として講演をさせて頂きました。対合衆は曹洞宗の御坊さんと言う、本音では何とも「やり辛い」貴重な経験を積ませて頂きました。お陰様でいぶ度胸が付きました(笑)

最後に、これもすべて県仏のお手伝いをさせて頂いたからこそ経験であり、素晴らしい仏縁に感謝しております。これにて事務局を離れてしましますが、このご縁を大切にこれからも御指導・御鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

## コロナ禍の今思ふこと

事務局員

宗像 義順

この度、任期満了ということで、県仏教会事務局員の任

を終えることとなりました。貴重なご縁をいただき、会長の宝光寺様には本当に感謝申し上げます。「任を終えた」などと言うと、さも大層なことを果たしたかのようですが、実際のところは名前だけの事務局員であり、大したお手伝いもできず時間だけが過ぎてしまいました。申し訳ない気持ちでいっぱいであります。そしてこの度、このようなご挨拶の場をいただき何を書こうか悩んでおりましたが、これも「有難い機会」と頂き、今私が思っていることを書き綴らせていただきたいと思います。

皆様もご承知の通り、昨年は私たちにとって思いもよらない年となりました。新型コロナウイルスの蔓延により、世の中、そして私たちの日常が一変しました。どこに行くにもマスクが欠かせなくなり、事あるごとに消毒をしなければならぬ、不要不急の外出は控える…。こんな世の中になろうとは、当初誰もが思いもしなかったでしょう。しかし、事実コロナにより重症化する方や、亡くなられる方がいるなかで、私たちの心境に変化が起きました。死が突如身近に迫り、「死がこ

寺院用仏具・仏壇・墓石・製造修復販売



株式会社

放 光

● 本社・工場 〒940-0825 新潟県長岡市高畑町 617

TEL 0258 (33) 5644 ☎ 0120-174176

● 長岡キヤリ- 0120-505-560

● 新潟店 0800-888-9872



わい」という思いが強まり、やがては「死なないために」だけが重要視され、「どう生きるか」という姿勢が蔑ろにされていったように思います。そもそもコロナ以前から死は隣り合わせとしてあり、もつと言え、生まれると同時に死が決定しているのが私たちです。そうであれば、「死はないように」は大事にしつつも、「どう生きるか」という問題意識は常に持つていなければならぬように思います。

そして、この自粛生活の「弊害」により苦しんでいる人たちの存在を忘れてはいけません。職を失ったり、子供の自由が奪われていたり、育児、貧困、介護などの悩みが深刻化しているという現状があります。日本の昨年10月の自死者数が2153人(警察庁発表)、10月だけで。異常な事態です。

そうなのですが、その一方で、コロナ生活も一年が経ち、すっかりこの状況にも慣れ、「早く終息してほしい」といながらも、当たり前前にマスクをし、当たり前前に消毒をし、考えることをやめてしまった人も多いように思います。マスクにより呼吸が浅くなることや、消毒のしすぎは大事な

常在菌を殺し免疫力を低下させることも知っておく必要があるでしょう。

【自分のものさしで「問う」のではなく、自分のものさし「を」問うのである。】

世の中には様々な問題がふれていて、それにより苦しんでいる人たちがたくさんいます。その人たちを全て救うのは難しいかもしれませんが、そういう人たちの存在を「自分事」にしていける人が増えていけば、やさしい世界になつていくのではないかなあと思います。

「自分はどう生きたいか？」自問自答していきたいです。ありがとうございました。

### 仏教のDX化について

令和3年1月28日、全日本仏教会「新年学習会」が開かれました。もともとはホテルグランヴィア京都で開催予定だった恒例の「新年互礼会」における基調講演でしたが、京都府にも新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出たため、リモートによる勉強会のみの開催になったものです。勉強会は、Zoomを使った

ウェビナー形式でおこなわれました。ウェビナーというのは、ウェブ(Web)とセミナー(Seminar)を組み合わせた造語で、インターネット上でおこなわれるセミナーあるいはそれをおこなうための道具のことです。講師やスタッフはそれぞれの場所からパソコンとインターネットを使って配信し、聴衆は自宅や自坊など、それぞれの場所から視聴するという形式でおこなわれました。

戸松理事長の開会のあいさつの後、大谷光淳会長のあいさつ、引き続き清水谷善圭副会長から延期された第45回全日本仏教徒会議島根大会を令和3年10月1日(金)・2日(土)に開催すべく準備を進めている旨のあいさつがあり、この後、基調講演がおこなわれました。

さて、「DX」とは、デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation)のことです。この英語を略すと「DT」になりそうなのですが、英語では接頭辞「trans-」は「X」と略することが一般的なため、「DX」となるようです。それはさておき意味を調べてみますと、さまざまな定義が

出てきます。ここでは、IT専門調査会社のIDC Japan株式会社の定義をご紹介します。

「企業が外部エコシステム(顧客、市場)の破壊的な変化に対応しつつ、内部エコシステム(組織、文化、従業員)の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム(クラウド、モバイル、ビッグデータ/アナリティクス、ソーシャル技術)を利用して、新しい製品やサービス、新しいビジネス・モデルを通して、ネットとリアル両面での顧客エクスペリエンスの変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること」と

抵抗のある諸師もおられるとは思いますが、この定義の「企業」を「寺院」に置き換えてみますと、「寺院が外部エコシステム(檀信徒、葬祭のあり方)の破壊的な変化に対応しつつ、内部エコシステム(組織、文化、職員)の変革を牽引しながら、第3のプラットフォーム(クラウド、モバイル、ビッグデータ/アナリティクス、ソーシャル技術)を利用して、新しい布教・葬祭活動・モデルを通して、

創ることにこだわり続ける廣川だから  
お客様と世代を越えて  
おつきあいさせていただきます。

◎全宗協加盟・仏壇公正取引協議会々員・仏匠会々員 JAご指定

金仏壇製造元 | 御家庭之尊厳 | 寺院用荘厳具・仏具取扱

お仏壇と墓石の 廣川

◆本社ショールーム 〒940-2035 長岡市関原町5丁目5番地

☎0258-46-2020(代)

◆上越店

☎025-525-6660(代)

◆小出店

☎025-792-8424(代)

◆仏壇工場

☎0258-46-5722

◆墓石展示場

☎0258-47-2010

ネットとリアルとの両面での檀信徒の宗教体験の変革を図ることで価値を創出し、競争上の優位性を確立すること」でもなるでしょうか。

檀信徒の寺離れ、葬祭法要における簡略化、人口減少、地方の過疎など、寺院はまさに「外部エコシステム」の破壊的な変化に遭遇しています。これに加えて、コロナ禍がこの動きを一層進めています。寺院もまさに変革すべきときであることは言を俟たないでしょう。

このようなことを踏まえて、基調講演の内容をご報告いたします。

講師の川邊健太郎氏はZホールディングス株式会社代表取締役社長兼ヤフー株式会社代表取締役社長でおられま



す。Zホールディングスは持株会社であり、親会社がソフトバンク、傘下にはヤフーやPayPayなど、ネットで情報を集め、サービスを受け、物

を買い、代金を支払うときに利用している会社が少なくありません。また、資本関係はありませんが、LINEやその親会社NAVERもグループ企業であり、日本のネット世界を引っ張る企業の一つです。

さて、川邊氏は「出会う」「調べる」「買う」「支払う」という面からDX化について話されました。DXというのは、ネットとリアルとの高度な連係であり、宗教儀礼はリアルで参加するのが基本である、とした上で、ネットの希望もないわけではないとも言いつけられました。

YouTubeのお坊さんの説法チャンネルに「須磨寺小池陽人」師の動画があることをご紹介くださいました。登録者数が3万人だそうです。信者さんが3万人いるようなものと考えてください。もちろんネット上の信者さんですから、実際にお寺に参拝してお布施を包んでくれたり、お賽銭を入れたりするわけではありません。しかし、動画の再生にに応じて広告を設定すれば、1回の再生につき0.05円〜0.1円がその動画をアップしたユーザーに支払

われます。広告収入の単価は動画のジャンルや登録者数によつて異なり、そもそも広告を設定できるのは、登録者数が1千人以上、あるいは年間再生時間が4千時間以上必要になるため、広告を設定すること自体ハードルが高く、また3万人の登録者が1回ずつ視聴してくれても1千5百円から3千円の広告収入にしかなりません。ユーザーのみで暮らしているのは一握りの人であり、ましてやお寺を経営していくことなど不可能です。小池師の動画には広告が設定されていませんから、師はユーザーの収入を狙っているわけではなく、須磨寺や僧侶小池陽人を知ってもらい、教えを広め、救いたいの目的を実現するために

おこなっているのでしょう。登録者は信者さんというよりも潜在的信者さんというべきであり、機会があれば実際に参拝し法要に参加し法話を聴いてくれる人々です。

以上は「出会う」「調べる」の好例であると思います。

次に、「買う」の例として「祈るころ公式オンラインストアー妙法寺」が紹介されました。

このサイトは横浜市の日蓮宗の妙法寺が運営するいわゆるショッピングサイトで、お守りを求めることができるようになっていています。志納から送付手続きまですべてオンライン上で完結しています。ちなみに、全日仏のサイトでも輪製袋や念珠などを求めることができますようになっていています。しかし、申し込みはFAXあるいはハガキでおこなうことになっており、不備を指摘されていました。

このお守り頒布用のサイトはお寺の公式ホームページとは別のサイトになっていました。お寺の公式ホームページを開くと、画面いっぱいにご住職と本堂内部が映り、動画で「浄心道場」の紹介がはじまります。このトップページからは、「祈るころ公式オンラインストアー妙法寺」と「妙法寺YouTube公式チャンネル」へのリンクが設置されています。ネットを積極的に利用しているよい例です。

「支払う」については、自社の宣伝も兼ねてPayPayペイペイを導入することを勧めておられました。申し込みは電話やサイトでおこなうことができ、無料で導入できます。

墓地の活用、樹木葬導入など  
お気軽にご相談ください。

本社／長岡市寺島町817  
tel.(0258)28-1930 to-a.co.jp

仏壇・墓石・樹木葬



TOA トーア

TEL 0120-00-1930

長岡本店 長岡中央店 新潟県庁前店 上越店 南魚沼店 仏壇工場 石材工場  
☎0258-28-1930 ☎0258-33-1930 ☎025-288-1930 ☎025-522-0139 ☎025-772-8193 ☎0258-66-5193 ☎0258-27-2113



決済システム利用料、入金手数料も現在は無料です。

クレジットカードやPayPayのような決済システムを利用すると税金の問題が発生するのでないか、と危惧されています。しかし、こういったシステムの利用と布施等を一般企業と同様の売り上げとみなされて課税される、という問題とは別な話です。布施等をあたかも定価があるかのように定額化するところに問題があります。PayPayを実際に使うとわかるのですが、自分でスマホのアプリに支払う金額を入力し、それを店員さんに確認してもらって決済しますから、お賽銭などは施主が志納しようと思う金額を入力すればよいわけで、布施等の志納金とは相性がよいかもしれません。

すべてをキャッシュレスにすることは難しいと思います。しかし、お寺も努力しているのだという姿勢を見せることは大切かもしれません。私見をまじえて川邊氏の話を紹介してまいりました。

最後に、氏が仏教に望む二つのことをご紹介します。

1、人々に寄り添って欲しい、特にコロナ禍にあって苦

しんでいる人たちに寄り添って欲しい。

現代人の最新の悩みは、現実の生活を充実させる「リア充」にあつて、他人からの承認欲求がネット、特にSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）によって強くなり、さみしさが再生産され増幅されている。また、それが強い「嫉妬」を生み出している。

2、人類の新しい悩みに対応したお経を作る、あるいは新しい解釈を発表して欲しい。

できれば、TwitterツイッターなどのSNSから発信してほしい。Twitterは140文字以内で、その話題について投稿できるため、手軽に動画を作成し投稿できるTikTokティックトックに短い法話を投稿し、それを発展させてYouTubeにチャンネルを作るもの1つのやり方であり、お寺の風景などの写真はInstagramインスタグラムで紹介するのがよい。

SNS上の誹謗中傷がもとで自殺に追い込まれた等の事件の報道を目にし、ネット上では人は思いやりやデリカ

シーを欠いた言動に走りやすいなどということを目にし、そんなことならSNSなどとはじめからやらなければいいではないか、という先入観がありました。しかし、だからこそそういったネット民に仏教というすばらしい教えを紹介し、寄り添っていくべきなのではないか、と考えさせられた勉強会でした。

## ■人権学習資料のご案内

新潟県人権・同和センターでは、人権に関する学習資料を頒布しております。

同センターでは、人権・同和問題啓発のために、毎年「人権・同和教育啓発推進講座越佐にんげん学校」を開催しています。ところが、令和2年度はコロナ禍のため、この講座を開講することができませんでした。その代替として、これまでの講演を文字にして学習資料を作成されました。現在第3集までが既刊で、第4巻を作成中です。

### ●第1集

①部落解放同盟中央副執行委員長片岡明幸「寝た子を起すな」では、だめなのか」

②敬和学園大学教授 藤野豊「優生保護法問題から考える差別の構造」部落差別、障がい者差別、ハンセン病患者差別、女性差別、民族差別」

③弁護士 近藤正道「神林裁判とその意義：同対審答申50年を考える」

④新潟いなほの会代表(当時)木村以久子「広げよう!! 発達障害についての理解 発達障がいとは?」

### ●第2集

①部落解放同盟新潟県連合会顧問(当時)長谷川サナエ「部落差別の今日」

②敬和学園大学准教授藤本晃嗣「部落差別解消推進法等 人権政策と差別について」

③部落解放同盟中央副執行委員長片岡明幸「鳥取ループ問題と部



お仏壇・墓石  
供養用具・記念碑

## 鈴木佛壇店

<b>白根本店</b> 白根本店真向い	新潟市南区白根日の出町 10-8 TEL.025-373-4155	
<b>墓石展示場</b>	<b>新潟小針店</b> 新潟市西区小針4丁目5-13 TEL.025-233-3135	<b>長岡店</b> 長岡店古正寺3丁目107番地 TEL.0258-29-6400
<b>五泉店</b> 五泉市栗島634-4 TEL.0250-47-3668	<b>仏壇工場</b> 新潟市南区白根日の出町 10-8 TEL.025-373-3636	<b>石材工場</b> 新潟市南区茨曾根2167-1 TEL.0120-333-721

www.suzukibutsudan.co.jp/ 鈴木仏壇店 🔍 検索

つながるおもい、  
つたえるところ。

よし うん どう



# 吉 運 堂

YOSHIUNDO

本社 新潟市南区戸頭1347-1 TEL 025(372)1138(代)

www.yoshiundo.co.jp

## 寺院用具 | お仏壇 | 墓石

新潟県で  
**No.1**

・23店舗ネットワーク  
・専門資格保有数260名

落差別解消推進法」  
④部落解放・人権政策確立要求新潟県実行委員会会長麻田秀潤「身元調査の差別性について」

## ●第3集

①部落解放同盟埼玉県連合会書記長小野寺一規「全国部落差別調査復刻版出版事件と部落差別解消推進法について」

②佐渡市／巣立つ子診療所医師、障害児を普通学校へ全国連絡会世話人まゆみみだし「相模原障害者施設殺傷事件と優生保護法について」相模原障がい者虐殺事件から2年……

③社会福祉法人自立生活福祉会常務理事・事務局長 通所直樹「障害者と人権について」

④NPO法人にいがたオーティズム理事長 角田千里「発達障害を持つ方たちの就労」『スタンバイ』の取り組み

◇価格はいずれも、会員2千円、非会員2千5百円

## ◇申し込み方法

郵便番号・住所・電話及びファックス番号・名称・担当者名を明記したE-mailを、新潟県人権・同和センター hum-igt@seaplaid.jp に送付してください。学習資料をPDFによるデータで返信します。

## ◇請求と支払い方法

請求書と郵便払込用紙を郵送します。ので、ご利用ください。手数料はセンター負担となります。

※原則として団体・組織・学校・職場での申し込みとさせていただきます。その範囲での学習教材としてご利用いただきますように留意してください。

※※不明点は県仏事務局まで。

第4回花まつりデザイン大賞作品をポスター・絵はがきにしました！

みんなで飾って・送ってお祝いしよう♪

## 花まつりポスター・絵はがき頒布開始

全日本仏教会では、多くの方々にお釈迦さまのお誕生日や「花まつり」を知っていただくために、ポスターと絵はがきを頒布しています。今回も一般公募による作品を使用し、ポスターと絵はがきを製作いたしました。

寺院や地域で開催される「花まつり」や春のイベント告知に活用していただき、また、お祝いや春のご挨拶、日ごろの感謝を伝えるツールとしてご使用くだされば幸いです。少数でもお気軽にご注文ください！



花まつりポスター大賞(左)  
「やすらぎの地」



花まつりポスター全仏版(右)  
「釋迦誕生佛」(金剛峯寺蔵)



花まつり絵はがき大賞 2 点 花まつりポスター大賞 1 点

「祝福を」(左)、「花やかなおしゃ様のたんじょう日」(中央)、「やすらぎの地」(右)

- |        |         |                             |
|--------|---------|-----------------------------|
| ■ポスター■ | ○サイズ    | A2 サイズ(縦 59.4 cm × 横 42 cm) |
|        | ○ポスター代金 | 各 種 50 円/1 枚 (別途、送料が必要です)   |
| ■絵はがき■ | ○サイズ    | 両親音折本(3 枚 1 組)              |
|        | ○絵はがき代金 | 無 料 (別途、送料が必要です)            |

お申し込み・詳細は全日本仏教会 HP をご確認ください。

<http://www.jbf.ne.jp/>

(本会 HP 花まつり QR コード)



◆問い合わせ◆ 公益財団法人 全日本仏教会 広報文化部 03-3437-9275



Arkbell

想いを結ぶ。

大切な想いを結び  
寄り添って  
お手伝いいたします。

ご葬儀はアークベルのセレモニー

ご葬儀は365日24時間対応

アークベルのセレモニー

検索